

チェーンバランサー & LSC型クランプ

世界の吊具
イーグル・クランプ株式会社

本社 / 〒542-0012 大阪市中央区谷町8丁目2番3号(久寿野木ビル)
 (貿易部) ☎(06)6762-0341(代) FAX(06)6768-5718(代)
 e-mail: (本社) eagle @ eagleclamp.co.jp
 (営業本部) aya-m @ eagleclamp.co.jp

東京支店 / 〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川2-2-2(日光ビル)
 ☎(045)491-5355(代) FAX(045)491-9633
 e-mail: m-jinno @ eagleclamp.co.jp

札幌営業所 / 〒003-0837 札幌市白石区北郷7条7丁目1番10号
 ☎(011)873-6053(代) FAX(011)873-6306
 e-mail: f-sasaki @ eagleclamp.co.jp

仙台営業所 / 〒983-0014 仙台市宮城野区高砂1丁目27番地の3
 ☎(022)254-5161(代) FAX(022)254-5163
 e-mail: s-shibuya @ eagleclamp.co.jp

北関東営業所 / 〒373-0806 群馬県太田市龍舞町5342
 ☎(0276)46-7331(代) FAX(0276)46-7004
 e-mail: n-hirata @ eagleclamp.co.jp

千葉営業所 / 〒290-0056 千葉県市原市五井1205-1
 ☎(0436)23-4811(代) FAX(0436)23-4812
 e-mail: t-nagamine @ eagleclamp.co.jp

名古屋営業所 / 〒453-0864 名古屋市中村区横前町551-4-1
 ☎(052)419-1301(代) FAX(052)419-1302
 e-mail: m-umoto @ eagleclamp.co.jp

大阪営業所 / 〒542-0012 大阪市中央区谷町8丁目2番3号(久寿野木ビル)
 ☎(06)6762-2081(代) FAX(06)6768-8275
 e-mail: y-nishitome @ eagleclamp.co.jp

北陸営業所 / 〒921-8011 金沢市入江3丁目132番地(福村ビル)
 ☎(076)291-2026(代) FAX(076)291-2027
 e-mail: h-araki @ eagleclamp.co.jp

岡山営業所 / 〒700-0986 岡山市北区新屋敷町3丁目5番21号
 ☎(086)246-1451(代) FAX(086)245-8951
 e-mail: y-fujioka @ eagleclamp.co.jp

広島営業所 / 〒733-0863 広島市西区草津南3丁目7番9号
 ☎(082)279-6600(代) FAX(082)501-2566
 e-mail: s-morii @ eagleclamp.co.jp

小倉営業所 / 〒802-0064 北九州市小倉北区片野3丁目4番14号(勝之ビル)
 ☎(093)921-1286(代) FAX(093)922-4379
 e-mail: t-wakasa @ eagleclamp.co.jp

長崎営業所 / 〒851-1132 長崎市小江原4丁目2-5
 ☎(095)844-9875(代) FAX(095)846-2251
 e-mail: j-kinoshita @ eagleclamp.co.jp

奈良工場 / 〒630-0142 奈良県生駒市北田原町1570
 ☎(0743)78-0571(代) FAX(0743)78-1639
 e-mail: h-ueda @ eagleclamp.co.jp

技術部 / 〒630-0142 奈良県生駒市北田原町1570
 ☎(0743)78-0571(代) FAX(0743)78-0572
 e-mail: t-kawashima @ eagleclamp.co.jp

ユーザー新規登録・確認、定期点検についてのお問い合わせは、

☎ 0120-119-080

<http://www.eagleclamp.co.jp>



ISO-9001
 A.C.NO.YKA 0200132
 Design, Manufacture, Maintenance, Management.

EAGLE CLAMP CO.,LTD. C-R 第6版

段差のあるつり点の不安を解消しました!

チェーンバランサー 〈平衡滑車 均等負荷〉 EQF

特殊鋼による強靱構造・安全係数：5以上

特長

● 素早いバランス調整

鉄鋼構造物のようにバランスが悪いワークでも、素早くバランスつりができる構造です。鉄鋼構造物等のつり上げにおいて、つり点の高さが変化する引き起こし・反転作業時に最適です。

● 作業能率の向上

チェーンを採用していることで、従来からの玉掛け作業のワイヤ式と違いワイヤ独自のヨジレや、はね返り等のくせがありません。使いよく作業がスムーズにでき、能率向上に欠かせない製品です。

● 強靱な本体構造

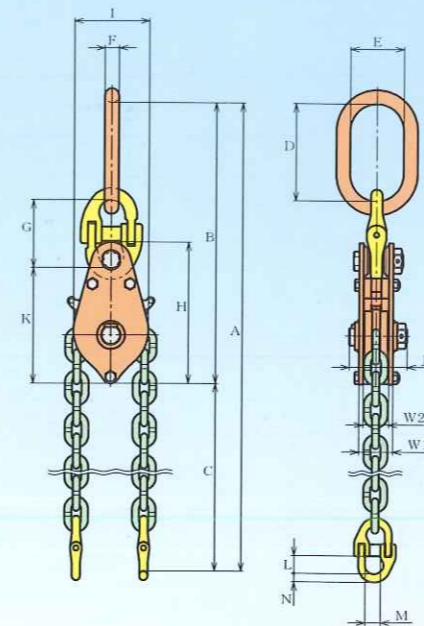
JIS規格より厳しいEN規格(818-2.4)に準拠した玉掛け専用チェーンとしてISO9001認証工場において、厳選された最高の特殊合金鋼を使用して製造された、グレード10のチェーンを採用しています。
(特殊コーティング済)

● 金具類も世界の超一級品

チェーンはもとより、使用されている金具類(マスターリンク、カップリング)も、ISO9001認証工場にて製造されたドイツ製、フランス製の製品を採用しております。いずれもJIS、ISO、EN、DIN規格にのっとり、厳選された材料を厳格な品質管理の下に製造された製品ばかりです。



寸法



●仕様表

型式	最大使用荷重	チェーン線径	マスターリンク	カップリング(上)	チェーンスリング	カップリング(下)	製品質量		
EQF-2	2ton(1ton×2)	φ8	MR-8	1個	φ8×2m(83リンク)	1本	CP-8	2個	7.3kg
EQF-4	4ton(2ton×2)	φ10	MR-10	1個	φ10×3m(99リンク)	1本	CP-10	2個	16.0kg
EQF-6	6ton(3ton×2)	φ13	MR-13	1個	φ13×3m(77リンク)	1本	CP-13	2個	26.0kg
EQF-10	10ton(5ton×2)	φ16	MR-16	1個	φ16×3m(63リンク)	1本	CP-16	2個	45.5kg

●寸法表

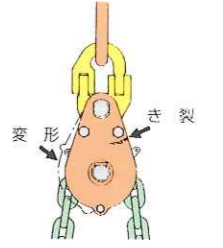
型式	全体			マスターリンク・カップリング(上)		バランサー 本体						カップリング(下)				
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	W1	W2	L	M	N
EQF-2	1264	336	928	135	75	φ18	63	173	90	73	138	46	30	21	20	11
EQF-4	1838	435	1403	160	90	φ22	104	211	114	85	171	53.4	37.4	24	25	13
EQF-6	1959.5	521.5	1438	180	100	φ26	127	261.5	140	109	214.5	63.2	47.2	31	30	18
EQF-10	1993	609	1384	200	110	φ32	155	319	180	136	254	78	58	40	36	21

使用上の注意事項

- チェーンのつり角度は60°以内で使用してください。ただし、下方にクランプ類を接続する場合は、そのクランプ類の制限つり角度に合わせて使用してください。
- 玉掛け時の高低差(A)が下記の許容範囲を超える場合は、チェーンバランサー側のチェーンを、高低差が許容範囲内に収まる長さのチェーンに交換してから作業を開始してください。
玉掛け時の許容最大高低差A寸法
・EQF- 2ton …… 1.7m
・EQF- 4ton …… 2.5m
・EQF- 6ton …… 2.5m
・EQF-10ton …… 2.5m
- 偏心したつり荷の場合、チェーンに掛る張力が同じになるまで、つり荷は傾きます。

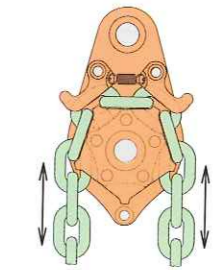
4. つり荷の落下・転倒範囲内への立入禁止。

5. 本体(本体板・各ボルト穴)や溶接部等に傷・変形や割れ等は無いか点検してください。

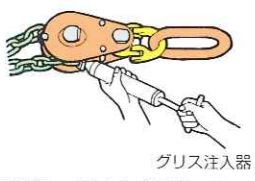


6. スプロケット、チェーンガイド等、チェーンや他のつり具等と接触する部分に、変形や割れ等は無いか点検してください。

7. チェーンを掛けた状態で、スプロケットがスムーズに回転するか、また、上下・左右(軸方向)に有害な遊びは無いか点検してください。



8. 定期保守として、スプロケットと、チェーンガイドの回転摺動部にはグリスを十分塗布してください。(1週間に1回)



9. 使用後は、水分や汚れ等を拭き取り、屋内に保管してください。

安全で便利な遠隔操作式シャックル建方作業に最適

遠隔操作レバーシャックル

LSC

●最大使用荷重：3～5ton ●有効板厚：6～28mm ●安全係数：5以上

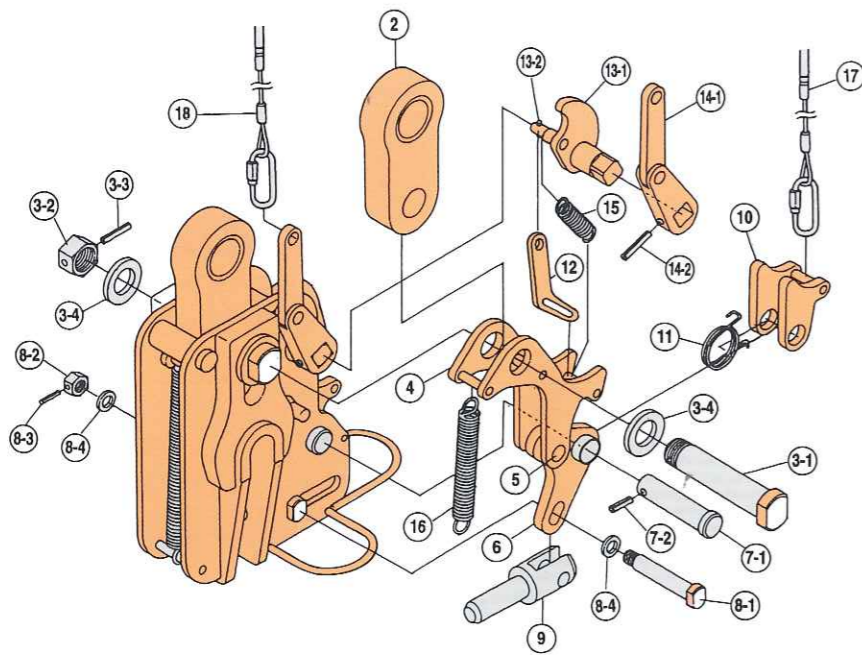
用途…… 建方・運搬・組立・搭載・引き抜き・つり上げ・etc.

適用部材…… 鉄鋼構造物・鉄骨・鋼製梁・鋼矢板・etc.

使用可能温度…… -30～150℃



分解構造図

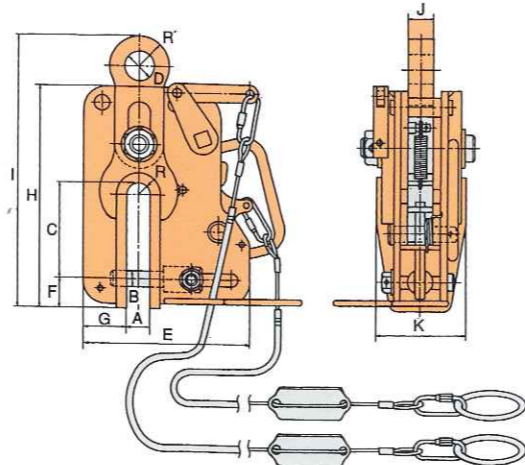


部品番号	型式	枝番	部品名	数
1	本体			1
2	つり環			1
3	つり環ボルト	3-1	つり環ボルト	1
		3-2	ナット	1
		3-3	スプリングピン	1
		3-4	ワッシャー	2
4	リンク			1
5	リンクカシメピン			1
6	Lリンク			1
7	Lリンクピン	7-1	Lリンクピン	1
		7-2	スプリングピン	1
8	ガイドボルト	8-1	ガイドボルト	1
		8-2	ナット	1
		8-3	スプリングピン	1
		8-4	ワッシャー	2
9	つりピン			1
10	ロックカム			1
11	ロック用キックばね			1
12	ラッチリンク			1
13	開放カム	13-1	開放カム	1
		13-2	スプリングピン	1
14	つりピン開放ハンドル (完成部品)	14-1	つりピン操作ハンドル	1
		14-2	スプリングピン	1
15	開放カム用ロックスプリング			1
16	開放用スプリング		(5tのみ2本)	1
17	ロックカム操作ワイヤ		銘板①	1
18	つりピン操作ワイヤ		銘板②	1

寸法図

商品コード	型式	最大 使用荷重 (t)	許容 使用板厚 (mm)	全体 (mm)											製品 質量 (kg)		
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K		R	R'
00902203	LSC-3 (φ16)	3	6~25	26.5	φ16	100	φ30	164.5	30	42	225	290~320	25	90	13.25	30	10.4
00902205	LSC-5 (φ22)	5	6~28	30	φ22	100	φ45	182	30	47	225	300~330	32	110	15	36	14.0

※付属ワイヤは、標準10mです。



特長

● 遠隔操作が簡単

2本の操作ワイヤロープを引くことにより自動開放を行う構造で、高所作業の必要性を無くしました。作業者の安全確保を配慮し、作業時間の大幅短縮が可能となりました。

● 安全性の高い二重ロック機構

開口部の開きを防止するロック装置と、ストッパーによる、二重ロック機構の設計で、極めて安全性の高い構造となっております。

● 安全確認が容易

クランプの取り付け、および、ロック状態が目視で確認できる機構になっています。

● 強靱な本体構造

クランクに強い溶接構造の高抗張力鋼製本体で出来ており、極めて強靱です。

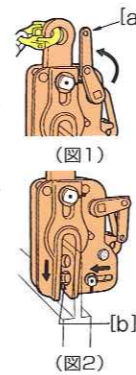
● 究極の安全性

- つり荷重によってさらにつりピンを押し込み方向に作用させる構造なので、つり環に荷重が掛かっている限りつりピンが抜けません。
- 操作ワイヤをつり上げ途中で引っかけても、つり荷重が掛かっているれば、ロックカムはつりピンの抜けを防止します。
- つりピンが完全に差し込まれない時は、操作ハンドルは途中で停止するため、つりピンの差し込み状態を確認できます。

使用方法

1. 取り付け

- 1) 鉄骨等のつりピースのつり穴の穴径と位置を確認する。
- 2) クランプの開口部を差し込み、つりピン操作ハンドル【a】を操作して、つりピン【b】をつり穴に押し込みハンドル【a】がロック位置に来るまで押し込む。(図1)
- 3) つりピン【b】が完全に差し込まれていない場合、操作ハンドルは(図2)の位置で停止するので、再度つり穴の位置と寸法を確認すること。



2. 引き起こし

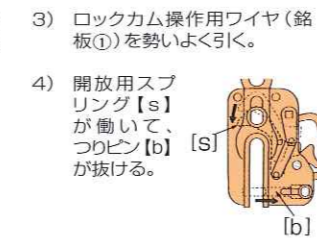
- 1) チェーンスリングのからみに注意しながらクレーンを静かに巻き上げ、つり上げ開始。
- クランプに荷重が掛かった時点で巻き上げを一旦停止して、つり荷の状態、クランプの取り付け(つりピンがつりピースに確実に差し込まれているか)、つり上げ用チェーンスリングのヨジレがないか等、安全確認を行うこと。

3. 巻き下げ

- 1) 鉄骨・梁等、つり荷の着床場所とその周辺の安全を確認後、クレーンを巻き下げ、つり荷を固定する。
- 2) つり荷が完全に固定されているか確認し、再びクレーンを巻き下げてチェーンスリングを十分たるませる。

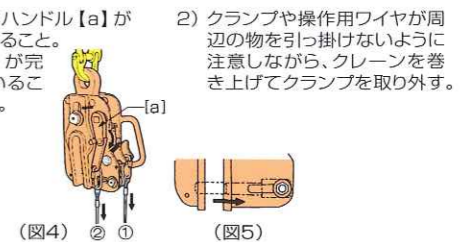
4. 開放

- 1) クランプのつり環に荷重が掛かっていないこと、チェーンスリングがたるんでいることを確認する。
- 2) つりピン操作ワイヤ(銘板②)を強く引いてロックを外す。



5. 取り外し

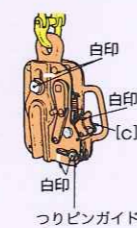
- 1) つりピン操作ハンドル【a】が開放位置にあること。つりピン【b】が完全に抜けていることを確認する。(図4,5)
- 2) クランプや操作ワイヤが周辺の物を引っ掛けないように注意しながら、クレーンを巻き上げてクランプを取り外す。



使用上の注意事項

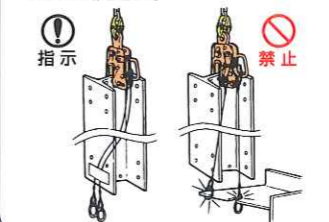
確認

つりピンとつり環ボルトが白印まで押し込まれていることを確認。
つり環ボルトが白印に合っているのにつりピンガイドが白印の位置までこない場合は他の原因が考えられる為、直ちに作業を中止して最寄りの営業所まで連絡してください。
ロックカム【c】が白印の見えない位置まで引き込まれていることを確認。
操作ワイヤ2本を柱に添わせて取り付け。



注意

つり上げ・運搬中に操作ワイヤが他の物に引っ掛からないよう処置をしてください。



危険

取り付け用チェーンスリング、接続金具はつり荷の重量に適合したものを使用すること。クランプのつり環とクレーンフックの直結厳禁。

- 始業点検を必ず実施すること。
- 作動と注油を点検。
- 操作方法を確認



安全性とスピーディを追求したバランスつりの逸品 !!

チェーンバルンサーとLSC型クランプ<遠隔操作式シャックル>の組合せで

特長

鉄鋼構造物等のワークのつり上げに伴って、つり点の高さが変化する場合に使用されます。

構造物のようにバランスの悪いワークでも、このチェーンバルンサーは素早くバランスつりが出来るよう、調節できる構造になっております。

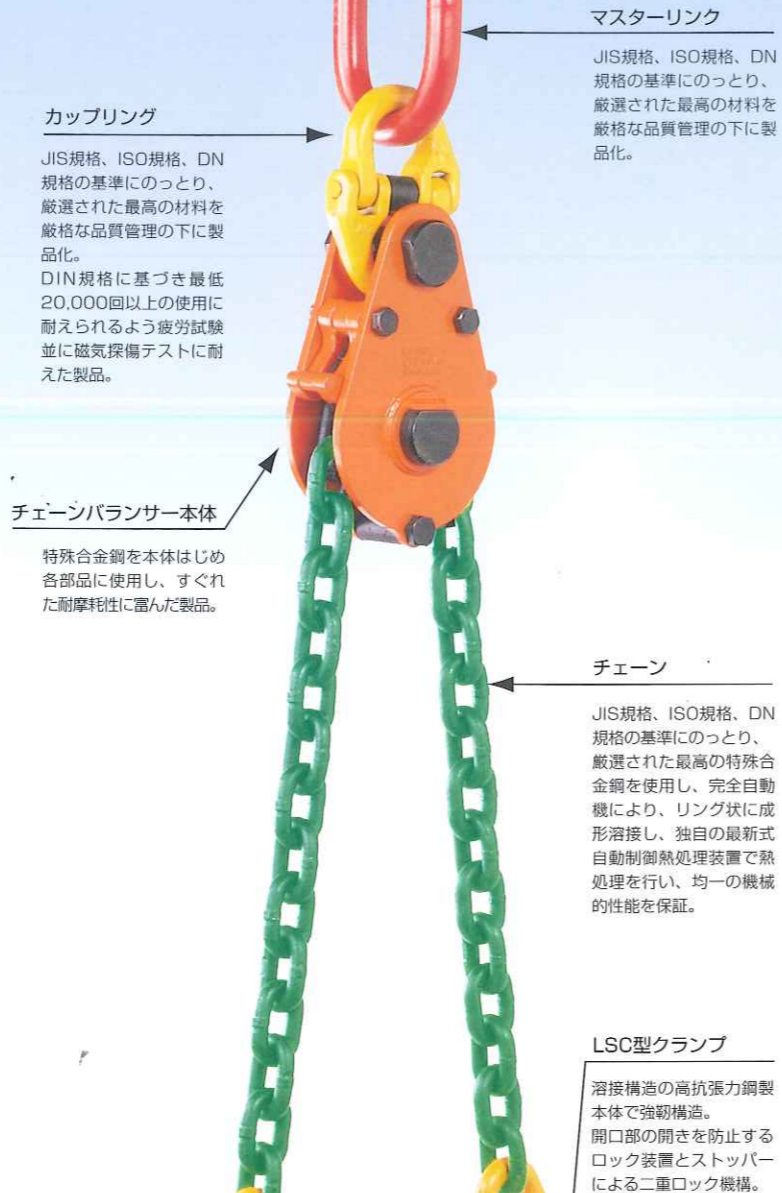
チェーンバルンサー(EQF型)と遠隔操作式レバーシャックル(LSC型)との併用により、その効力がさらにアップ致します。

● 遠隔操作が簡単

チェーンバルンサー(EQF型)と遠隔操作式レバーシャックル(LSC型)との併用により、遠隔操作が容易に行え、玉掛けの取り外し等の高所作業での危険性がなく、スピーディな作業性と能率向上と安全性で大きく貢献します。

● 作業能率の向上

チェーンを採用していることで、従来からの玉掛け作業でのワイヤ式と違い、ワイヤ独特のヨジレや、はね返り等のくせがありませんので、使い易く作業がスムーズで、能率向上にかかせない製品です。



カップリング

JIS規格、ISO規格、DN規格の基準にのっとり、厳選された最高の材料を厳格な品質管理の下に製品化。
DIN規格に基づき最低20,000回以上の使用に耐えられるよう疲労試験並に磁気探傷テストに耐えた製品。

チェーンバルンサー本体

特殊合金鋼を本体をはじめ各部品に使用し、すぐれた耐摩耗性に富んだ製品。

マスターリンク

JIS規格、ISO規格、DN規格の基準にのっとり、厳選された最高の材料を厳格な品質管理の下に製品化。

チェーン

JIS規格、ISO規格、DN規格の基準にのっとり、厳選された最高の特殊合金鋼を使用し、完全自動機により、リング状に成形溶接し、独自の最新式自動制御熱処理装置で熱処理を行い、均一の機械的性能を保証。

LSC型クランプ

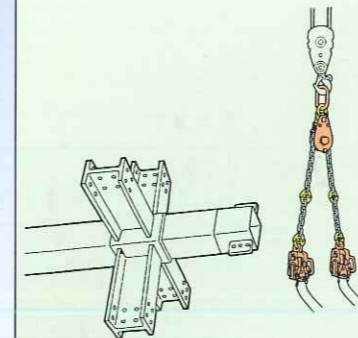
溶接構造の高抗張力鋼製本体で強靱構造。開口部の開きを防止するロック装置とストッパーによる二重ロック機構。

操作手順

1. 本機のセット

1-1. チェーンバルンサー&レバーシャックル(LSC型)をクレーンフックに引っ掛けてつり上げる。

1-2. ヤードの鉄骨柱頭部にレバーシャックル(LSC型)を近づける。

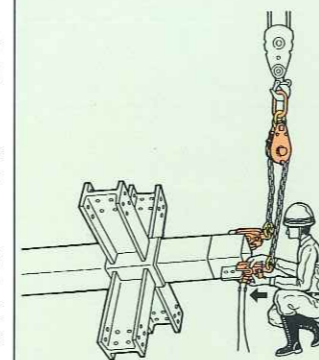


2. 玉掛け作業

2-1. 鉄骨のつりピースの穴を確認してから、LSC型の開口部を差し込む。

2-2. つりピン操作ハンドルを操作して、つりピンをつり穴に押し込む。

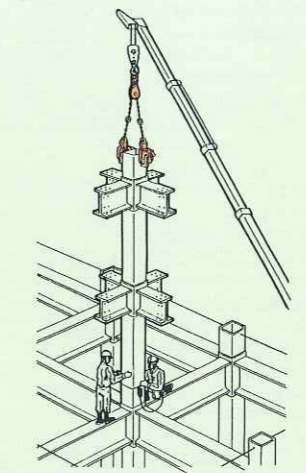
2-3. つりピンが完全に差し込まれていない場合、操作ハンドルは停止するので、再度つり穴の位置と寸法を確認する。



4. 位置合せ仮結合

4-1. 目的位置を確認し、鉄骨柱を静かにセットする。

4-2. 建入れを確かめてアンカーボルトを平均に締め付ける。

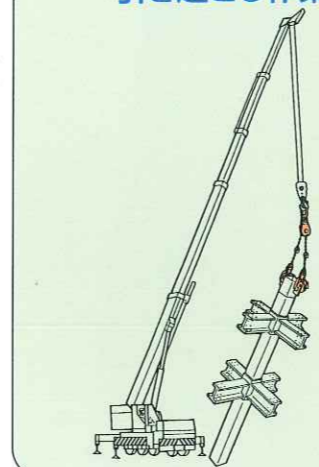


3. 構造物引き起こし作業

3-1. 引き起こしの前に鉄骨柱の根本に板材等の当て物を入れる。

3-2. 鉄骨柱の根本が滑らないように注意して、クレーンを静かに巻き上げる。

3-3. LSC型のつり環に荷重が掛かった時点で巻き上げを一旦停止。荷重が均等に掛かっていることを確認してからつり上げる。



5. 玉掛け外し作業

5-1. クレーンを少し巻き下げ、チェーンスリングを十分たるませる。

5-2. つりピン操作ワイヤを(銘板②)強く引いてロックを外す。ロックカム操作ワイヤ(銘板①)を勢いよく引いてピンを抜く。

5-3. 鉄骨柱のつり穴からつりピンが完全に抜けていることを確認して、クレーンを巻き上げてクランプを外す。

